

ソフトバンク・テクノロジー株式会社
株主通信 2013.4.1—2014.3.31



情報革命で人々を幸せに
— 技術の力で、未来をつくる —

SoftBank
Technology



TOP MESSAGE

トップメッセージ

大きな成長への基盤構築

代表取締役社長CEO 阿多 親市

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当社第26期（2013年4月1日～2014年3月31日）の事業概要をご報告申し上げます。

社長就任以来「会社を大きく成長させる」という目標を掲げ、新規事業の開発、社員の積極採用と技術力の向上、M&Aなどにより、成長戦略を推進してまいりました。

当期におきましては、株式会社環、フォントワークス株式会社を子会社とし、さらに、サイバートラスト株式会社の子会社化を決定いたしました。この結果、当期末の連結社員数は624名。このうち技術者に対しては、技術レベルの向上を図るために高度技術資格取得を推進した結果、幾つかの領域で外部表彰を頂けるようになるなど、当社の成長に向けた基盤が整ってきたことを実感しております。

これからも社員の力を結集し、更なる成長を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

STRUCTURAL REFORM 成長戦略と取り組み

POINT 1 新たな事業基盤の立ち上げ
Webマーケティング分野では、新たにGoogleとの関係強化を実現しました。また、ビッグデータ事業推進に向けて「4D Pocket」や「McAfee SIEM運用サービス」などの新サービスを提供開始しました。

POINT 2 M&Aによる事業成長
株式会社環、フォントワークス株式会社に加え、新たにサイバートラスト株式会社と、注力分野の強化にむけたM&Aを行いました。

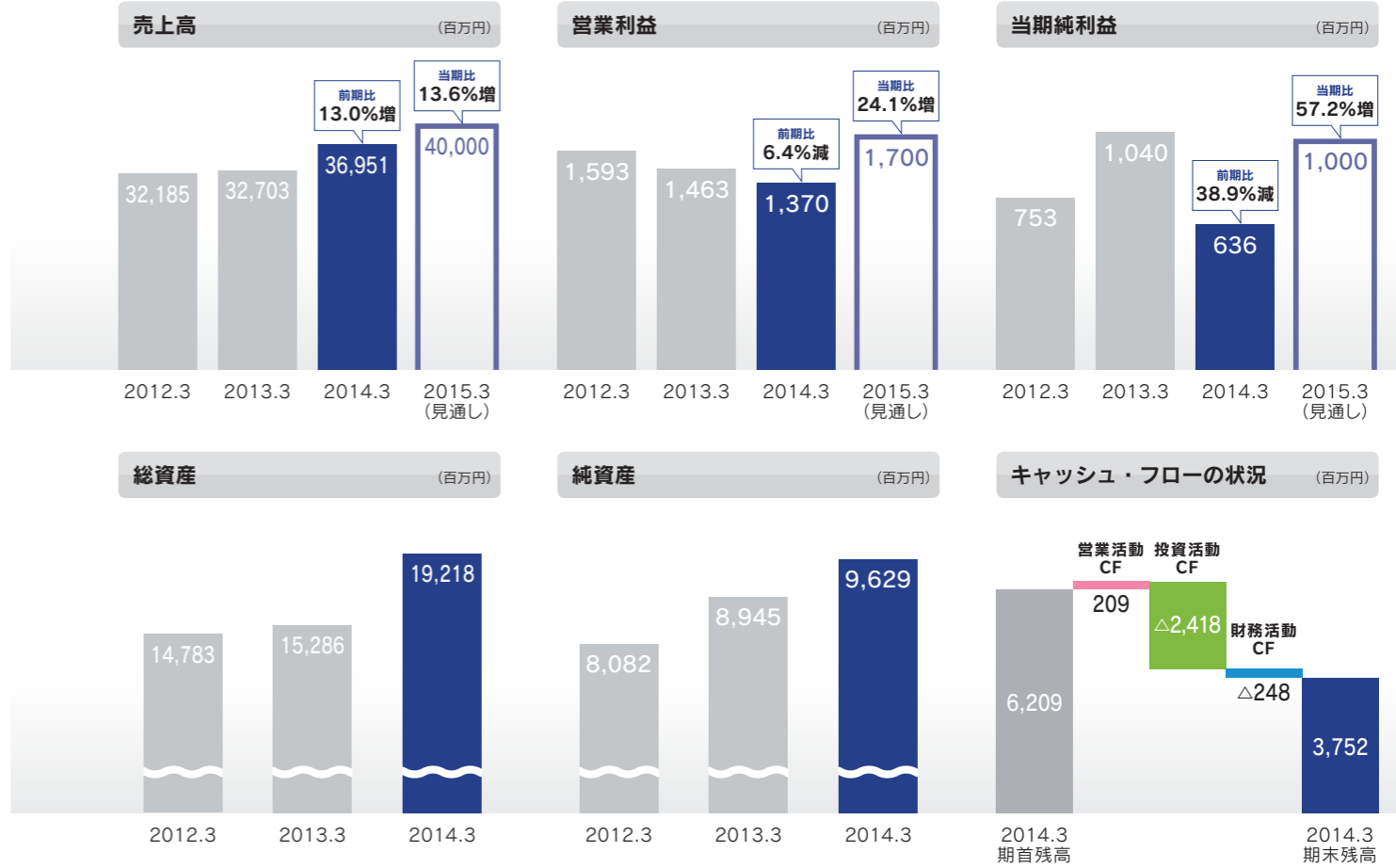
POINT 3 成長戦略の加速
事業成長の基盤拡大のため、積極的な技術者の人材採用と教育研修に取り組みました。また、福岡開発センター開設、および本社移転など、投資を継続いたしました。

FINANCIAL HIGHLIGHT

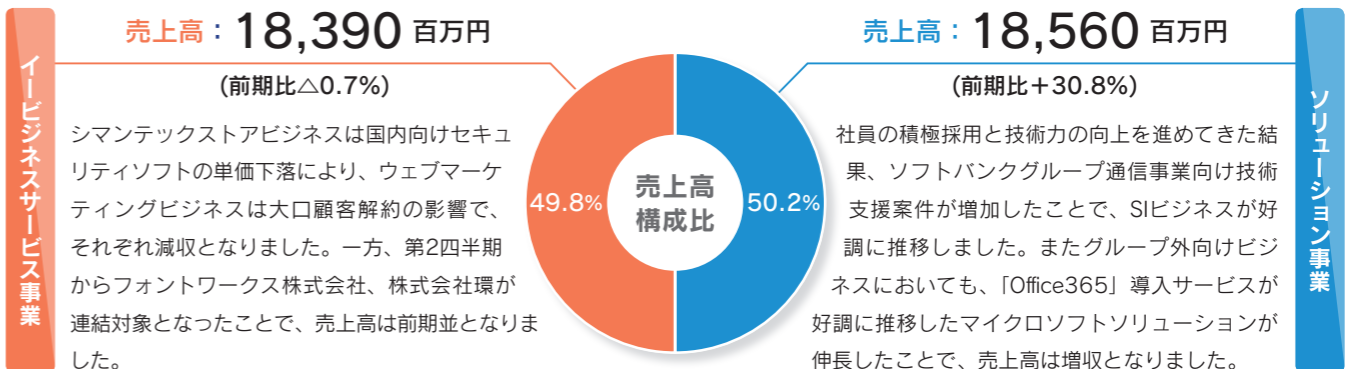
決算ハイライト

売上高 イービジネスサービス事業は前年並となりましたが、ソフトバンクグループ向けSIビジネスとグループ外企業向けマイクロソフトソリューションが好調に推移したソリューション事業の寄与により、増収となりました。

利益 「機器販売からサービス提供」へ収益構造が転換したことで限界利益率は向上しましたが、「成長戦略の推進」による積極的な人材投資および連結子会社の増加により固定費が増加し、減益となりました。



セグメント別の概況



BUSINESS HIGHLIGHT

ビジネス ハイライト

当下半期における当社プレスリリースより抜粋したトピックス一覧です。注力するビッグデータソリューションでは、新サービスの取り扱いについて発信いたしました。また、大規模企業へのMicrosoftソリューション導入、自治体へのサービス導入についても発信いたしました。

10.24 ソフトバンクグループの人材育成機関にMobile Perfect SP研修ツールバックを導入

10.28 国内初、統合デジタルマーケティングソリューション Adobe Marketing Cloudの5ソリューションを提供開始

10.30 ビッグデータを活用した次世代セキュリティインテリジェンス、McAfee SIEMを提供開始

11.7 Yahoo! JAPAN様のプレハブデータセンタ用バッテリーサーバを導入

11.22 日興アイ・アール「2013年度 全上場企業ホームページ 充実度ランキング」で最優秀サイトを受賞

11.26 大和インベスター・リレーションズ「2013年 インターネットIR表彰」で優良賞を受賞

11.29 ブックオフグループ様へクラウドアクセスコントロールサービス Online Service Gateを導入

12.3 福岡開発センターを開設

ニアショア開発拠点として、福岡市博多区に福岡開発センターを新設しました。

12.10 ショップチャンネル様へ分析ソリューションAdobe Analyticsを導入

12.16 ソフトバンクグループ協働で埼玉県バス運行状況システム「バスcoi」の社会実験を開始

埼玉県、ヤフーと協働で、バスの運行状況をリアルタイムに確認できるシステムを開発。官民連携で取り組みを進めています。

1.31 小田原市様の公式ホームページへ、WebフォントサービスFONTPLUSを導入

2.3 大日本スクリーン製造様と業務提携し、WebフォントサービスFONTPLUSでヒラギノフォントの提供を開始

2.7 環が事務局を務めるウェブ解析士協会、「初級ウェブ解析士認定講座」の受講者6,000名突破

2.17 本社移転

2.28 Google クラウドプラットフォーム サービスパートナー契約を締結

「Google クラウドプラットフォーム」と連携するサービスを展開し、データサイエンス+クラウドで企業のビッグデータ活用を支援していきます。

3.5 iPad対応業務支援アプリケーション Smart atで、iPad受付システムを提供開始

3.17 高セキュリティルームを活用し、McAfee SIEM運用サービスを提供開始

セキュリティログの監視運用+分析をサービス化。標的型攻撃への即時対応と高度なデータ分析を実現します。

3.26 サイバートラスト株式会社の子会社化を決定

3.27 ニトリ様へOffice 365を導入

17,000ユーザのグループウェアを集約・刷新。グローバル情報共有基盤の確立と業務の効率化を支援しました。

2013年 10月～12月

2014年 1月～3月

INTRODUCTION AFFILIATED COMPANY

関連会社のご紹介

サイバートラスト株式会社

サイバートラスト株式会社（以下、サイバートラスト）は、企業理念である「信頼とともに」を胸に、健全なネットワーク社会の発展に向けて事業に取り組んでおります。1995年に国内認証市場の先駆けとして事業を開始して以来、その時代環境に最も適

した、PKI（公開鍵暗号基盤）ソリューション、SSLサーバ証明書発行および認証、マネージドセキュリティサービス、端末認証および管理サービスなど、ネットワーク社会におけるお客様の多様なセキュリティニーズに 대응してまいりました。

今後は、サイバートラストの有するセキュリティの要素技術と、ソフトバンク・テクノロジーの監視、運用、保守ビジネスを融合させることで、事業シナジーの創出を図ってまいります。また、両社の顧客基盤を融合したクロスセルの実施による営業体制強化により、事業の大きな成長を促進できるものと考えております。

今後もソフトバンク・テクノロジーグループとの連携を強化し、さらなる収益基盤の強化と企業価値の向上を目指してまいります。



サイバートラスト株式会社
代表取締役社長

眞柄 泰利

INTRODUCTION OF HEADQUARTERS

新本社のご紹介

2014年2月17日、本社を新宿イーストサイドスクエアに移転いたしました。

「OneSBT」をコーポレートスローガンとし、大きな成長を遂げるため、グループ社員の力を結集し、同じ目標に向かって突き進む強い意志を具現化しています。

ワンフロア1,800坪という広大なスペースに、営業、技術、管理、子会社が集結。壁を極力排除することで、組織の壁を意識せずコミュニケーションを行える空間を構築しました。

コンセプトは「先進と自然の調和」。

フロア外周を囲む窓際にはグリーンカーペット（通称グリーンベルト）を敷き、明るく開放的なオフィスになりました。グリーンベルトは会議やリフレッシュに利用でき、業務に集中する執務席との対比で「オンとオフの切替」を図り、業務効率アップ。気軽にコミュニケーションが取れるため、社員間の連携も活性化しています。

オフィス内には、ビル機能集中コントロールシステム「MirrorLife」や、iPad受付システム「Smart at Reception」、社内外どこでもテレビ会議が可能なMicrosoftの「Lync」など、自ら提供する最先端のソリューションを取り入れることで、お客様へのショールームの役割も果たします。



また、同じタイミングで、高セキュリティのネットワークオペレーションルームを、都内に新たに開設しました。（写真右を参照）24時間365日の監視サービス、データ分析・レポートサービスなどをお客様に提供していく予定です。

「OneSBT」の力を結集したこのオフィスで、私たちは事業戦略をさらに加速させ、大きな成長を実現してまいります。



会社概要

(2014年3月31日現在)

商号	ソフトバンク・テクノロジー株式会社
本店所在地	東京都新宿区新宿六丁目27番30号
事業所	新宿オフィス(本社)、汐留オフィス、 汐留開発ベース、大阪支社、名古屋オフィス、 福岡支社、福岡開発センター、台湾支店
事業内容	イービジネスサービス事業およびソリューション事業
ホームページ	http://www.softbanktech.co.jp/
資本金	634,555千円
従業員数	連結624名 単独542名
主な子会社	M-SOLUTIONS株式会社、 フォントワークス株式会社、株式会社社環

※事業年度の末日後、平成26年4月にサイバートラスト株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社としました。

役員

(2014年3月31日現在)

代表取締役社長	阿多 親市	常勤監査役	廣瀬 治彦
取締役	長田 隆明	監査役	佐野 光生
取締役	青木 克志	監査役	後藤 芳光
取締役	佐藤 光浩	監査役	三木 雄信
取締役	後藤 行正		
取締役	吉田 剛		

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金基準日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL.0120-288-324(フリーダイヤル)
上場取引所	東証第一部(コード番号 4726)
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による掲載ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 http://www.softbanktech.co.jp/

今後のIRスケジュール(予定)



ソフトバンク・テクノロジー株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目27番30号
新宿イーストサイドスクエア 17階

TEL 03-6892-3050 (代表)
URL <http://www.softbanktech.co.jp/>
お問い合わせ先 管理統括 管理本部 経営企画部
MAIL sbt-ir@tech.softbank.co.jp

※記載されている会社名、ロゴ、製品名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Copyright© SoftBank Technology Corp. All Rights Reserved

株式の状況

(2014年3月31日現在)

発行可能株式総数	42,560,800株
発行済株式の総数	10,640,200株
株主数	4,309名

大株主

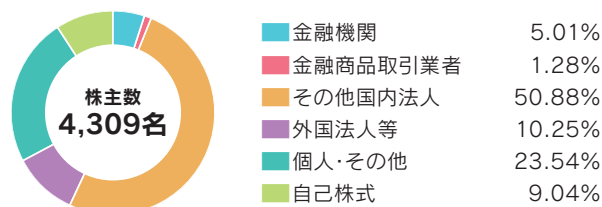
(2014年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ソフトバンク株式会社	5,367,500	55.46
ビービーエイチ フォー ファイデリティ ロー プ ライズド ストック ファンド(プリンシパル オ ール セクター サポートフォリオ)	282,500	2.92
ザ バンク オブ ニューヨーク ー ジャスティック トリー ティー アカウント	275,300	2.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	133,300	1.38
石川 憲和	120,000	1.24

※持株比率は、自己株式(961,890株)を控除して計算しています。
※ダルトン・インベストメンツ・エルエルシーから、平成26年3月19日付で提出された大量保有報告書の変更報告書により、同社が当社株式707,900株を保有している旨の報告を受けております。しかし、当社として当期末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

所有者別持株比率

(2014年3月31日現在)



お知らせ

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。(特別口座管理機関 連絡先) 三菱UFJ信託銀行 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行本支店、みずほ銀行本支店およびみずほ証券本支店でお受けいたします。

VOICE 編集後記

株主の皆様、いつも株主通信をご愛読いただきまして、誠にありがとうございます。株主通信の制作を担当している経営企画部です。
今回は、「当社のいま」をより分かりやすくお伝えできるよう、新本社について取り上げさせていただきました。いかがでしたでしょうか？
次回の発行は2014年冬となります。今後も株主の皆様とよりよい関係が築けるよう、掲載内容の充実と、改善に努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



経営企画部
皆口朋美



経営企画部
齊藤竜一



経営企画部
岸啓介



ISMS認証機関: 本社、汐留、大阪、福岡